

真駒内駅前地区まちづくりに関するオープンハウス パネル①

① まちづくりの現状と課題

現状

<南区>

- ・みどり、水源などの豊かな自然
- ・芸術、観光、教育・文化などの多様な地域資源
- ・ゆとりある居住環境

<真駒内地域>

- ・道路・公園など計画的に整備された都市基盤
- ・札幌冬季オリンピック（1972年）のレガシー
- ・地下鉄駅前に集積した公共施設

課題

<南区>

- ・10区で最も人口が減少、少子高齢化が進行
- ・将来的にも大きな人口減少が予測

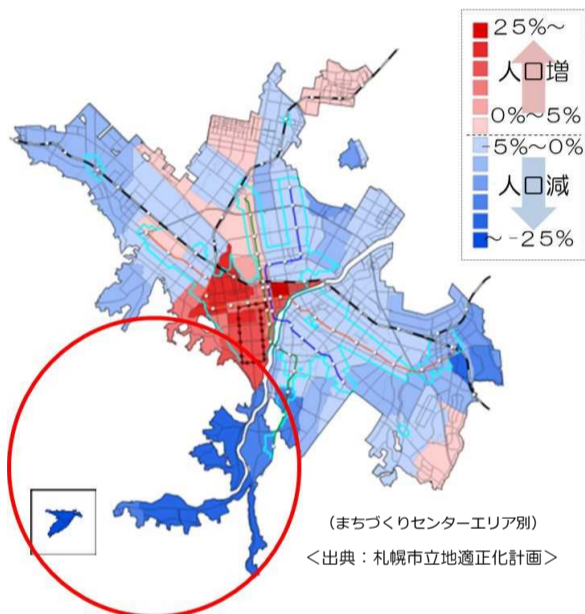
<真駒内地域>

- ・公共施設等の老朽化
- ・小中学校の閉校後の跡活用
- ・その他 地域課題（にぎわいの不足、交通利便性など）

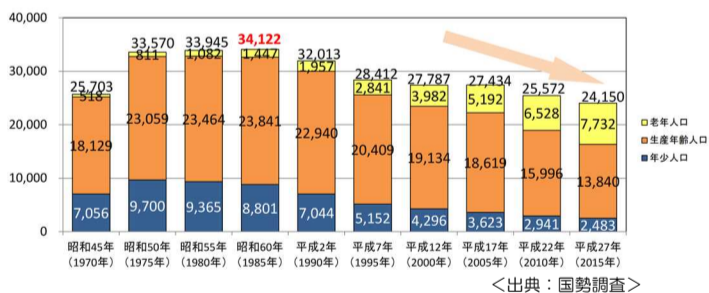
施設名	建築年
南消防署	1964年（移転済）
真駒内中学校	1967年
南保健センター	1968年
まこまる（旧 真駒内緑小）	1971年
南区役所	1972年
南区民センター	1979年
北海道警察宿舎	1965～1972年



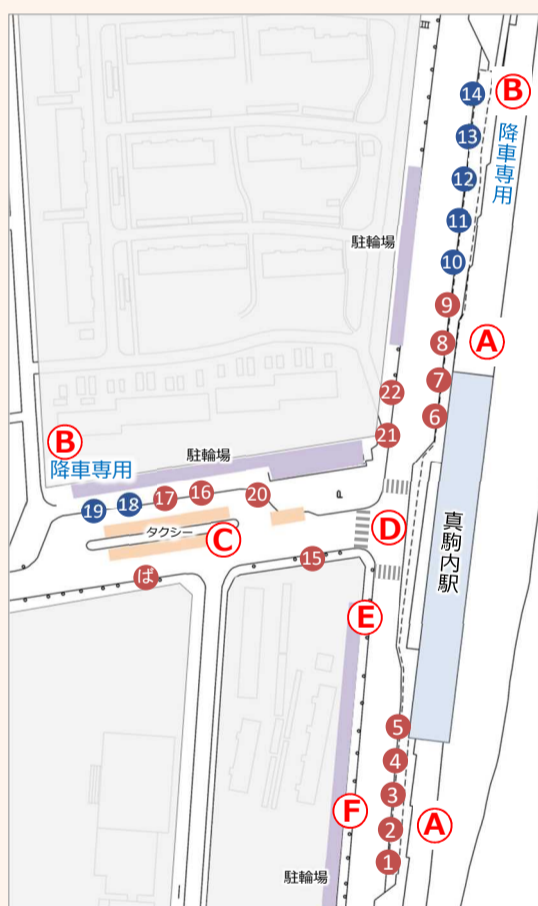
<将来人口 増減率（H22～42）>



<真駒内地域の人口の推移>



<交通環境に関する主な地域要望>



- A** バス待ち環境が悪い（風雪、待ち時間の活用）
- B** バス降車場所から駅までの乗り継ぎ環境が悪い
- C** 駅に近接したタクシー乗降場所の不足
- D** 平岸通による分断（特に凍結路面横断の危険性）
- E** 一般送迎車の路上駐停車が多い
- F** 歩行者の乱横断が多い

② 真駒内駅前地区まちづくり指針（平成25年5月策定）

基本方針

真駒内地域はもとより南区全体の拠点として、駅前地区の再生に向けた取組みを展開する

- ◆ 「通過型」から人が集まる「滞留・交流型」の駅前地区へ
- ◆ 駅前地区の活動と交流の広がりによって南区全体の魅力向上へ

当面の取組み

公共施設の建替え更新が具体化するまで、閉校した真駒内緑小の校舎・グラウンドを有効活用

➡ 「まこまる」として活用

将来的な取組み

駅前地区の土地利用を計画的に再編し、拠点機能の向上と環境にやさしいまちづくりを実現

➡ 「真駒内駅前地区まちづくり計画」の策定を目指す

